

会議録

会 議 の 名 称	第2回あま市文化財保存活用地域計画委員会
開 催 日 時	令和5年10月23日（月）午後3時から
開 催 場 所	あま市役所 2階 B会議室
内 容	<p>1 あいさつ</p> <p>2 報告 (1)参加型ワークショップについて (2)文化庁事前協議について</p> <p>3 議題 (1)あま市措置の表（案）について (2)あま市文化財保存活用地域計画骨子（案）について (3)その他</p> <p>4 その他</p>
資 料	<p>資料1 参加型ワークショップのまとめ</p> <p>資料2 文化庁事前協議について</p> <p>資料3-1 あま市措置の表（案）</p> <p>資料3-2 あま市文化財保存活用地域計画骨子（案）</p>
出 席 委 員	筒井正委員、間野隆裕委員、見田隆鑑委員、尾崎綾亮委員、加藤博紀委員、岡部快基委員、出井普順委員、溝口紘委員、松岡義雄委員、齋藤知明委員
欠 席 委 員	なし
事 務 局	<p>（教育委員会） 伊藤克仁教育長</p> <p>（教育部） 鎌倉崇志部長、徳永増美津次長</p> <p>（生涯学習課） 内山伸也課長、近藤博主幹、濱嶋直樹主幹、内山智美主幹、入野真由美課長補佐、駒瀬直輝主査、渡邊彩希主任</p> <p>（ランドブレイン株式会社 名古屋事務所） 名田瑞希</p>

委員会の経過

1 あいさつ

伊藤教育長 筒井委員長

2 報告

(1) 参加型ワークショップについて

生涯学習課より説明

<質疑応答>

- ・地域と一緒に活動する、学校での姿とは違った面がみられました。

(2) 文化庁事前協議について

生涯学習課より説明

<質疑応答> なし

3 議題

(1) あま市措置の表(案)について

生涯学習課より説明

<質疑応答>

- ・取組み主体について、基本的にはあま市として、他の団体は協力部署(団体)とした方がわかりやすいのではないかと。
⇒優先順位をつけながら年度別に行えるよう、前期、中期、後期と表示します。
- ・収蔵資料の精査について、説明してほしい。
⇒七宝郷土資料館は既に解体されているが、収蔵品は美和歴史民俗資料館に仮置きしている。甚目寺歴史民俗資料館及び美和歴史民俗資料館の収蔵品について、重複している物などの精査を行い、収蔵スペースの確保を検討します。
- ・伝統産業、伝統芸能について、何を想定していますか。
⇒伝統産業は、七宝焼と刷毛。伝統芸能は、甚目寺説教源氏節と手踊りです。
- ・高校生による小中学生への出前授業について、学校に持ち帰り、確認させていただきまます。
- ・課題に「まちなみ、食、祭り」とありますが、食についての具体的な措置が無いように思います。
⇒確認します。
- ・「文化財カード」を作成すると楽しんでもらえるかもしれない。
⇒ありがとうございます。
- ・文化財の案内看板を作成するなら QR コードを付与すると活用されるのではないだろうか。
⇒ありがとうございます。
- ・地域ブランド品の販売について、直接の関りが無いように思います。
⇒販売ではなく、地域のブランドになるようなものことです。
- ・地域のイベントに子どもの参加がすくないとのことですが、香の物まつりや文化財防火デーの際に参加している小学生がいます。是非、継続して参加していただ

きたい。子どもたちに対して、体験活動を増やすことができれば、文化財を身近に感じるのではないのでしょうか。

- ・子どもは横のつながりが強いので、祭りなどの際に文化を伝えていくと、普及・推進につながると思う。
- ・文化財マップとの表記がありますが、文化財といってもいろいろありますので、「まつりマップ」「仏像マップ」「建造物マップ」などの種別ごとに特化したものの作成でも良いのではないか。
- ・地域の夏祭りで美和音頭を踊ります。今後、さらに子どもたちが地域に溶け込んでほしい。
- ・文化財マップについて、1つのマップか、仏像や埋蔵文化財など、種類別のマップにするのかを示した方がいい。
⇒ありがとうございます。

(2) あま市文化財保存活用地域計画骨子(案)について
生涯学習課より説明のみしました。

(3) その他

<質疑応答>

なし

4 その他

- ・もくもく座による甚目寺説教源氏節の公演について
日時：令和5年11月12日(日) 正午より
場所：甚目寺観音
- ・第3回 あま市文化財保存活用地域計画委員会について
日時：令和6年2月16日(金) 午後3時から
場所：あま市役所 2階 E会議室